

□議員名：前田浩司

1 本市の関係人口について

論点	関係人口政策の現状をどう認識し、どのように考えているか。
回答	人口減少下で持続可能なまちづくりには関係人口の創出が重要である。国の方針に沿い、本市も施政方針および後期総合計画で重点施策として位置付け、定住・交流人口を超え、継続的に市の発展に関わる人材を増やす方針である。

論点	本市が持つ貴重なネットワークを生かした活用について、どのような構想と具体的計画・取組が行われるのか。
回答	市外の「本市のファン」を関係人口と捉え、主体的なまちづくり参加を期待している。スマイルプランナー登録制度を活用する予定である。また、山口東京理科大学との連携は大きな強みである。

論点	ふるさと納税寄付者とのネットワーク活用について、どのように考えているか。
回答	令和6年度寄附件数は約1万2,000件、寄附者のうち、約6%がリピーターである。ふるさと納税のリピーターは、将来の関係人口になり得る重要な存在と認識しており、今後は寄附をきっかけに継続的な関係づくりにつなげたい。

論点	二地域居住という新しい暮らし方への取組について、どのように考えているか。
回答	二地域居住は、主な生活拠点とは別の特定地域に生活拠点を設ける暮らし方であり、地域の担い手の確保や消費等の需要の創出という社会的意義があり、二地域居住を選択されて本市に関わっていただける方を積極的に支援していきたいと考えている。

論点	国が進めている「ふるさと住民登録制度」を活用する考えはあるか。
回答	この制度は、住民票は移さなくても、「ふるさとの住民」として居住地以外の地域に継続的に関わる仕組みで、市は、国の制度が具体化

	すれば、積極的に活用を検討する。
--	------------------

2 本市の河川管理・保全の取組について

論点	河川保全の現状をどのように把握しているか実状を聞く。
回答	市内を流れる河川には二級河川、準用河川、普通河川の3種類があり、このうち、二級河川と準用河川は河川法の適用を受け、二級河川は山口県、準用河川は市が管理している。また、河川法が適用されない普通河川は、地元の管理である。

論点	定期的な河川のパトロールの巡回・点検の実状はどうか。
回答	梅雨前に職員がパトロールを実施しているほか、大雨情報の発令時や住民からの通報があった場合にも随時巡回を行っている。臨時点検は、明確な基準はないが、災害級の豪雨後や異常通報があった場合に実施し、過去に被害のあった河川を重点的に巡回している。

論点	大きな河川に流れ込む道路側溝や、雨水・排水施設の水路からあふれるなどの水害対策について、どのように考えているか。
回答	雨は生活雑排水と道路の側溝や水路など雨水排水施設を經由して河川へ流れる。その側溝や水路に堆積した土砂の撤去につきましては、地元住民の道普請による水掃除をお願いしている。市道の暗渠など危険が伴う水路の土砂撤去は、市の維持管理で対応している。

論点	側溝や水路などに流入した土砂の撤去や泥上げは、小規模土木事業の対象にならないのか考えを聞く。
回答	底にたまった土砂の撤去や溝掃除、草刈り等も含めて維持管理に該当するような事業は小規模土木事業の補助要件に該当していない。

論点	高齢化や自治会加入率もかなり低下している自治会、採択要件の見直しなど改善を求める必要があると考えるがどうか。
回答	地元からの相談は年に何件か頂いている。小規模土木事業は、申請から1年待ちの状況にあり、採択要件を緩和すると件数の増加が予

	測され、要件の見直しは困難である。少子高齢化が進行する中で将来的には何らかの方法を考える必要性は認識している。
--	---

論点	本市が目指すべき河川保全の方向性について、具体的な取組を今後どのように進めるのか。
回答	土砂撤去や護岸補修などの維持管理を継続し、ハザードマップの整備や避難啓発、流域治水の考え方を取り入れながら安全確保を図る。流域治水とは、流域全体で雨水を溜め、遅らせ、浸透させ、分散させることで河川への急激な流入を抑える。

論点	従来 of 治水の考え方についてはどうか。
回答	これまでの治水の考え方は、川に水を流すために川の堤防を高くしたり、頑丈にしたり、ポンプにたまった水を川に流すような対策であった。従来の河川整備だけでは多大な予算と時間を要し、安全性を向上させることが難しくなっている。

論点	浸水被害の軽減を図るため、雨水を地下に浸透させ流出を抑制する山口市の雨水流出抑制施設補助制度を導入する予定はないか。
回答	地面がアスファルトやコンクリートになり、雨水が地面に染み込みにくくなっている。本市独自の制度はないが、雨水貯留・浸透など家庭単位でできる取組、流域治水において簡単で効果のあるものではないかと思う。